

社内講習用

# 自動販売機階段昇降機作業 踊場拡張補助具使用説明書



東洋ベンディング株式会社

2017年4月作成

## 【考案の経緯】

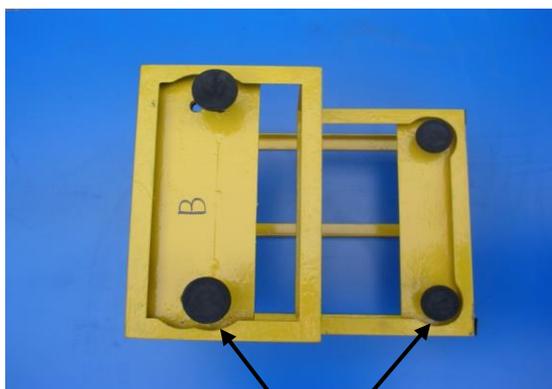
電ネコによる自販機階段昇降作業に於いて、階段踊場の奥行き寸法が約1,300mm以下では電ネコが壁に当たる為、起こした状態にしなければならず、当然落下に繋がります。

しかし、どうしても我々は作業を行わなければならず、危険を回避して如何に安全に且つ、スムーズに作業を遂行する為に、様々な模索・検討を行い考案致しました。そして幾多の改善を経て現在の形に至り、使用しております。

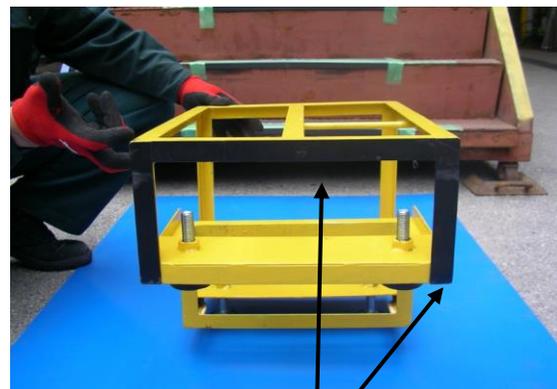
### 1. 階段拡張補助具の説明



ガタ及び高さ調整用レベリング  
(皿の部分は底に滑り止めゴムを貼り、接着剤にてレベリングに丸ゴムを取付)



滑り止めゴム

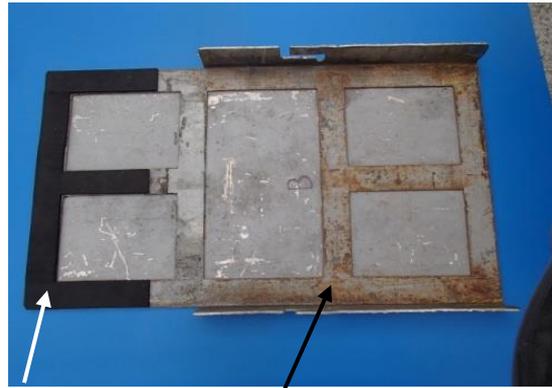


緩衝用ゴム貼付け

天板 表面



天板 裏面



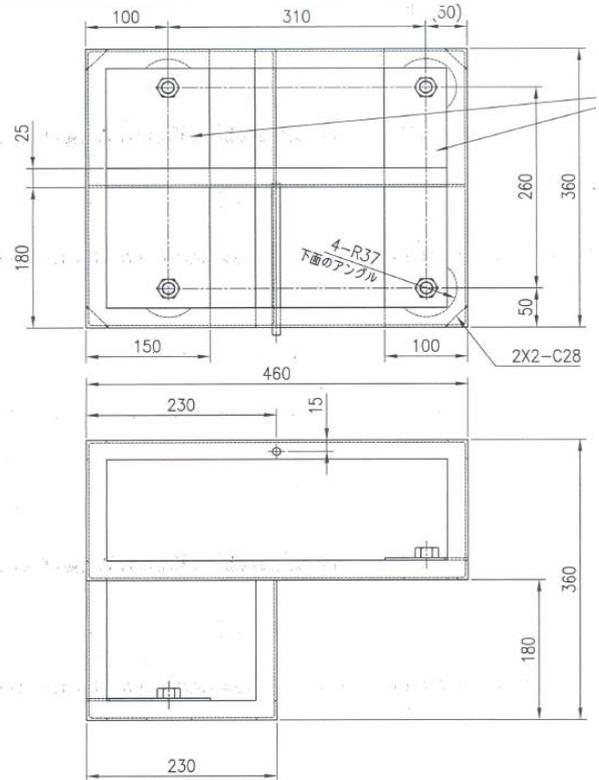
鉄製補強枠

床面に接触する為滑り止めゴム貼付け。



脱着カギ溝

拡張補助具寸法



この部分で天板はロックされる

## 2. 作業手順の説明

- ① 先ず階段ステップ及び踊場床面は必ず養生を施す。

以下、上り時の手順を記述します。



- ② 自販機を電ネコに乗せレベリングをキャスターに交換する。

踊場まで上げる。ここで平地用車輪（前輪）が上がりきって安全な位置を確認。

この時点ですでに電ネコの上部フレーム及び作業者が壁に当たる為、前輪にブレーキをかけたまま、やや前方に起こした状態で停止する。



- ③ 素早く補助具を左右にセットし、レベリングでガタを調整し且つ、前部をやや高めに水準器で調整する。



- ④ 天板（補強アルミ縞板）をセットする。  
（この時、電ネコ側は2名で対応する。）



- ⑤ 補助具の上に自販機を立てる。  
このとき必ず下で2名が自販機を支えて、ゆっくり前に着地させる。



セット完了後



着地状態



- ⑥ そして着地状態から電ネコを外す。



- ⑦ 着地状態から自販機を移動し、次の手順に進める。



⑧ 下りはセットした補助具に移動する。



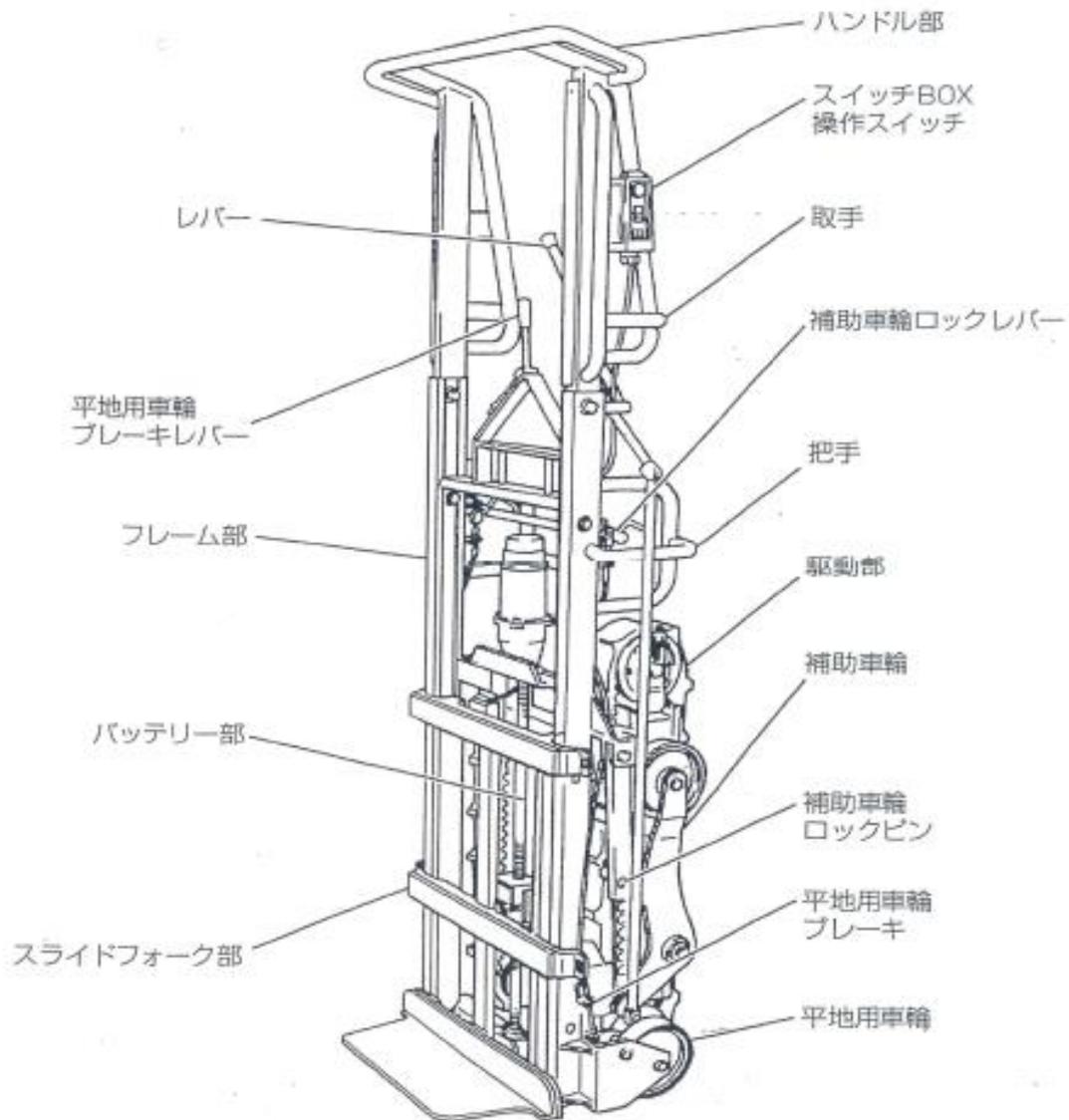
⑨ この状態で電ネコを後方からセットし、ベルトを締め、ブレーキをかけ後方に倒す。



⑩ 補助具を撤去して、補助輪を格納し下降へと進める。



### 3. 各部の名称



### 4. 結び

本補助具はあくまでも私共が作業行うために製作、使用しているものであり販売は致して居りません。

従って、多数の方々が使用されることにより、改善点がおのずと出てくるものと思われれますので、さらなる安全なものに進化することを期待してやみません。